

第13回 「高校教員のためのリカレント化学講座」開催のご案内

高等学校化学教員 各位

拝啓 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

首都大学東京 理工学系 化学コースが主催する「高校教員のためのリカレント化学講座」は今年度で第13回目になります。今年度は8月26日（土）に首都大学東京、南大沢キャンパスの国際交流会館で開催し、藤田 渉先生（成蹊大学・教授）、三島正規先生（本学准教授）、及び、西長 亨（本学准教授）の3人による講演を予定しております。

藤田 渉先生は物性化学がご専門です。化学同人から発刊されているCSJ（日本化学会）カレントレビューシリーズの“スピン化学が拓く分子磁性の新展開”の中で、この分野を発展させた革新論文36に取り上げられた研究を含め、特に、有機分子で作った磁性体で顕著な業績を挙げておられます。磁性体に関しては、高校でも無機化学分野で扱うものの、高校生にその原理を講義することは容易ではないことと存じます。藤田先生は、磁性について、大学での講義から市民講座まで、豊富な教育経験をお持ちです。磁性の原理について易しく解説していただいた上で、有機分子や金属錯体を使った磁性研究の最新の話題までを講演していただけるものと思います。

三島正規先生は構造生物化学がご専門です。特に、溶液のNMRによるタンパク質の立体構造解析で顕著な業績を挙げておられます。このようなタンパク質の構造を知ることは、同じような形の医薬品を作ることで酵素の働きを抑えたり促進したりできるので、新薬の開発につながります。三島先生は、大学での公開講座や放送大学での講義なども担当しておられます。高校化学でも重要であるタンパク質の構造の解説に加え、その機能に関する最新のトピックスまで講演していただけるものと思います。

西長は有機機能材料化学を専門としております。高校から学び始める有機化学は、その多様な構造のために暗記分野ととらえられがちで、高校生に興味を持ってもらうのにも一苦労があるかと存じます。本講演では、高校の有機化学でも重要な芳香族化合物を中心に、特にアニリンから始まった色素の研究から最新の有機半導体への展開まで、高校の授業でも興味を持ってもらえるような話題も交えて、ご紹介したいと考えております。

講演者へのご質問やリクエストがございましたら、参加登録の際にお寄せ下さい。事前にお伝えさせて頂きます。また、各講演には、十分な議論の時間を設けております。先生方からの資料提示、あるいはご提案・ご提言も歓迎致します。

尚、研修としてご出席され、私共から出張依頼書などを希望される先生方は、ご遠慮なくお申し付け下さい。本案内状を化学担当教員の皆様にご回覧いただけると幸いです。

敬具

〒192-0397

東京都八王子市南大沢1-1

首都大学東京・都市教養学部・理工学系・化学コース

（首都大学東京・大学院 理工学研究科・分子物質化学専攻）

講座担当者 西長 亨

第13回 「高校教員のためのリカレント化学講座」

主催： 首都大学東京 理工学系 化学コース

日時： 2017 年 8 月 26 日（土曜日） 午前 10:30 ～ 午後 15:40

場所： 首都大学東京・南大沢キャンパス（八王子市南大沢1-1）

国際交流会館、1階の中会議室（1階の一番奥です）

キャンパスマップ http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/map.html

参加費： 無料（資料準備の都合上、事前の申込をお願い致します）

参加申し込み： 電子メールに所属・氏名、その他要望等をご記載の上、お送りください。

電子メール宛先： 西長 亨 (nishinaga-tohru@tmu.ac.jp)

参加申し込み締め切り： 2017 年8 月22 日（火曜日）

その他： ・ 軽装でお越しください。

- ・ 研修としてご参加されるにあたり、私共から何らかの書類(出張依頼書など)を必要とされる場合は発行致します。

プログラム

10:30-10:40 はじめに（講座担当者の挨拶） 西長 亨（本学・准教授）

10:40-11:40 『分子生物学を化学の言葉で読み解く』 三島正規（本学・准教授）

11:40-13:00 昼食時間

13:00-14:00 『有機機能材料の歴史と今』 西長 亨（本学・准教授）

14:00-15:00 『有機物と磁石』 藤田 渉（成蹊大学・教授）

15:00-15:40 質疑応答など

15:40 解散